

2008年9月20日

リサーチ・フェア 2008 発表者向けセカンドサーキュラー

発表代表者の皆様へ

リサーチ・フェア実行委員会

皆様にはリサーチ・フェア 2008 への発表申し込みをいただき、ありがとうございました。

以下は、1次募集で応募された方への案内（サーキュラー）です。代表者の方々にmailで直接送付するほか、掲示コーナー等でも公示する予定です。かなり長いものですが、必ずお目通しください。

1. プログラム原案について

①プログラム原案ですが、ご自分の発表の形式・日時・会場・発表タイトル等のチェックをお願いします。なお、正式（最終）のプログラムは10月中旬に発表予定です。

②変更希望等

日時・会場の変更は基本的にできません。やむを得ない理由で希望される場合、運営担当教員の高畑 (z96014@kwansei.ac.jp) までご連絡下さい。実行委員会で検討いたします。なお、変更を希望されない場合でも、他の方の変更のために、（玉突き的に）時間帯等が変更になることもあります。したがって、上記の最終プログラムでのチェックを必ずお願いします。

2. 発表要旨等の投稿

①10月1日～10月13日の期間に、リサーチ・フェア公式サイトトップページに、要旨投稿用のメールフォームを開きますので、タイトル・発表者氏名・要旨（250字程度）の投稿をお願いします。投稿原稿はそのまま“要旨集”に印刷されますので、投稿前に必ずチェックして下さい。なお、期間中に御投稿がない場合は、発表を申し込まれた時点でのタイトル・要旨が印刷されることとなります。

②発表要旨については、まず、受付番号とタイトルを所定の欄にご記入下さい。なお、タイトルはできるだけ簡潔をお願いします。副題をつける場合は、その前後に“～”をつけてください（下記参照）。

どんな形式のプレゼンテーションが有効か？～リサーチ・フェアでの実践例～

③続いて、発表者氏名ですが、発表代表者を最初にして全員のお名前をお書き下さい（下の見本を参照）。トップの代表者の方は、名前の後の（ ）内に学部／研究科名（あるいは大学名）、学年、（ご希望の場合は）研究演習のゼミ名をお書きください。次の方からは学部・学年が左隣の方と異なる場合にのみ（学部・学年）をお書きください（大学院修士課程の方は学年をM1、M2、博士後期課程の方はD1、D2、D3等とお書き下さい）。

見本：関学太郎（総政3年；**ゼミ）・宝塚四郎（経済2年）・上ヶ原五郎（総政3年）・西北六郎・三宮七郎（神大経済研究科M2）・明石八郎（総政4年）・姫路九郎（阪大法3年）・岡山十郎（総政3年）

④要旨は250字をめどにお書きください。字数がこれを超えた場合、要旨集では字のサイズを小さくすることで対応します。したがって、読みにくくなりますので、ご注意下さい。

⑤自由形式での発表予定者の方は、会場使用予定時間と使用予定機器を必ずお書き添え下さい。機器については、パネルや液晶プロジェクター、PC等に限りがありますので、必要最小限の数をご記入ください

(ご要望にすべてお応えできるかどうかは、すべての回答をいただき、全体の調整が終わらないと確言できないことをご理解ください)。

3. 発表者対象説明会について

下記の通り説明会を実施します。発表者の皆さんに持ち時間を有効に使うため、リサーチ・フェアのプログラム全般や、口頭発表とポスター発表の注意事項等について説明する予定です(自由形式については個々にケースが異なるため、直接運営担当(高畑; z96014@ksc.kwansei.ac.jpまでご連絡下さい)。どちらか都合のよい方に御参加下さい。なお、この説明会は出席を強制するものではありません。必要がなければ欠席されても構いませんし、代理の方に参加していただいても結構です。

日 程 : 2008年10月7日(火)・10月9日(木)
時 間 : 12:40~13:30(昼休み) 会場 : II-102(予定)

なお、説明に用いたパワーポイントはMドライブのフォルダ「リサーチ・フェア広報」に入力する予定ですので(“Making of Research Fair”)、ご参照下さい(プログラム暫定版も入力します。随時更新いたしますので、ご参照下さい)。

4. 各賞受賞者発表式・懇親会

今年度も11月8日(第2日目)の16:30頃から、各賞受賞者発表式ならびに懇親会を第1厚生棟食堂で1時間半程度とりおこなう予定です。第2日目に開催されるビジネスプラン・コンテストや政策コンテストに審査員等でお招きした学外の企業・団体の方々、また同窓会総会等でお越しの総合政策学部の先輩の方々、また二日目に多く参加される他学部・他大学からの発表者の方も含めて、広く交流の場を創る予定です。発表者の皆様方には是非、この集まりに御参加いただきたく、お願い申し上げます。

5. リサーチ・フェア終了後

来年5月には今年度と同様に、上ヶ原の関学会館でリサーチ・コンソーシアム記念事業の一環として、ポスター発表の場を設けます。多数の企業・団体が参加され、学部学生と学外の企業・団体との交流の場ともなっています。リサーチ・フェアでの発表によって研鑽を積まれたのち、是非、この5月のリサーチ・コンソーシアムでも発表され、広く学外にもアピールされることを期待します。

6. 発表準備について

毎年、リサーチ・フェアが近づくと、図書館等で広いスペースを占有し、声高に話すなど他の利用者に迷惑をかけるケースが目立っています。公共スペースで、他の学生・教職員の方に迷惑になるような行為は慎んでください。

(リハーサル以外の時間帯で)準備で演習教室等を使用したいという場合は、必ず、使用日の前日までに事務室に「教室使用申請書」を提出し、許可書を受けてください。なお、「申請書」は事務室にあります。また、「許可書」は申請日の翌開室日にお渡しします。ノート型PCも4台まで貸し出します(事務室で予約)。ただし、プロジェクターについては台数に限りがあり、授業に差し障りがあるため、お貸しできません。公式のリハーサル時に練習するようにお願いします。

7. 発表形式ごとの注意

以下は、発表準備を進めてもらう上で重要なことですので、必ず読んで下さい。

◆一般口頭発表予定の方々へ◆

1. 発表時間について

発表は20分が1クールです。このうち、5分間を交替（PCの準備等）として、残り15分について発表10分+質疑5分を標準とします。

2. 使用機器について

全会場は、以下の機器を備えています。なお、教室ごとに機器の使用手順がかなり異なります。予定の会場でリハーサルを必ずおねがいします。リサーチ・フェア当日は、各会場の教卓に、発表者用に簡単な使用ガイドをおく予定です。

1. PC（使用メディアはCDR、USBメモリ、zドライブ等）
2. OHC
3. 液晶プロジェクター
4. VHS/DVDデッキ
5. カセットテープデッキ

これら以外の機器の使用希望があれば、要旨等の投稿時にお知らせください。なお、LD、ミニディスクは多くの教室で使用できません。ミニDVや8mmビデオテープも使えない教室が多いので、映像関係は通常のVHSあるいはDVD-Rを使用して下さい。

また、教室によって出力機器に差があります。Ⅱ-102、Ⅱ-201、Ⅱ-204は天吊モニターおよびスクリーンが使用できますが、Ⅱ-101とⅡ-111はスクリーンだけです。設備の関係上、ご了解下さい。Ⅱ-102、Ⅱ-201の天吊モニターはスクリーンの補助モニターとなるので、スクリーンと同じ映像が映ります。Ⅱ-102には2枚のスクリーンがあり、おのおの異なる映像を流せます。また、天吊モニターにはそれぞれが対応するスクリーンの映像が映ります。

3. PCを使用する場合の条件について

全会場に、PCが設置されておりますので、それをご使用下さい。接続時のトラブルを避けるため、原則として持ち込みは不可とします。どうしても持ち込みを希望する場合は、その旨をご連絡下さい。なお、Ⅱ-102はLan接続口が1箇所だけなので、持込PCの場合はLanケーブルを差し替えてください。Ⅱ-101、111、201、204には持ち込みPC用のLan接続口があります。

機種：富士通 FMV-E8240

プレゼンテーション用ソフト：Microsoft Power Point 2007

※ネットワークに接続しますので、学内の方はZドライブを使用できます。

PCのログインは、学内の方は御自分のID・パスワードでおこなって下さい。学外の方は、ノートパソコン本体にシールが貼ってありますが、そこにID・パスワードが記入されていますのでローカルでログインして下さい。終了時は必ずログオフをお願いしますが、電源は絶対に切らないようにお願いします。万一機器にトラブルが生じて、PCが使用できなくなった場合に備えて、OHC等でも発表できるように準備されることをお奨めします。

基本的に使用できるメディアとして、①Zドライブ（学内の方）、②CDR、③USB使用メモリースティック（PCがメモリを認識するのに多少時間がかかることをご考慮下さい）等があります。

4. レジメの印刷・配布について

口頭発表では、レジメを配布されてもかまいません。印刷が必要な人は、事務室までお申し出下さい。学部所有の印刷機を使用できます。なお、発表当日に大量に印刷しようとすると、印刷機のトラブルや他のチームの印刷などで、思うように印刷できない場合が（昨年までのケースで）目立ちました。発表当日の印刷は避け、数日前に印刷されることをお願いします。

5. リハーサルについて

リハーサルですが、今年度は10月下旬～11月上旬に、授業の空き時間等を利用して設定する予定です。本番でのトラブルを避けるため、PC等の機器を使用される方は、必ずリハーサルをおこなってください。

リハーサル等を経験せずに発表されて、トラブルが起きても自己責任とみなされますので、あらかじめご了承ください。リハーサルの詳しい日時・時間は後日、事務局からお知らせいたします。また、申込は事務局を通しておこないます。

なお、リハーサルは授業がない時間帯を利用しますので、日時に制限があります。十分に余裕をもって申し込んでください。とくに、リサーチ・フェアの直前では申込が殺到して、ご希望に応えられなくなる事態も予想されますので、お気をつけてください。

また、昨年度まで、申し込んでもリハーサルに来ないチームもありました。当然、その時間帯は他のチームは利用できませんから、結果的に迷惑をかけることとなります。キャンセルの場合は、速やかに事務局等に連絡してください。

◆ポスター発表予定の方々へ◆

1. ポスターの掲示ならびにディスカッション・タイムにおけるプレゼンテーション

ポスターはパネルに1日目、2日目と両日掲示します。1日目に1時間のディスカッション・タイム(コアタイム)を設けて、参加者との質疑応答をおこないます。13:45頃には、ポスターの前に待機し、発表準備を終えてください。なお、ポスターの位置等は後日またご連絡いたします。

2. ポスターのサイズについて

ポスターを掲示するパネルですが、横1200mm×縦1690mmの縦長タイプです(5月のリサーチ・コンソシアムでのポスターセッションと同じ形式になります)。御参考のため、展示例を公開することを考慮しております。

なお、ポスターは原則としてメンディングテープでとめることとなります。テープは、リサーチ・フェア当日は会場に用意します。使用される方は、実行委員会(本部はII-106を予定)にお申し出下さい。

3. ポスターの掲示について

ポスターは、11月7日(金)の10:00までに、指定の位置(発表数がまだ完全に確定していませんので、後日連絡いたします)のパネルに掲示をおねがいします。パネルは2日目の15:00まで掲示しますので、15:00が過ぎてからそれぞれ回収してください。回収できなかった場合は、実行委員会が回収してお預かりします。

4. ディスカッション・タイム(コアタイム)

コアタイムでのプレゼンテーションは、模擬店の学術版とお考え下さい。例えば、企業では、新製品の発表や見本市でのブースでのプレゼンテーションが想定されます。基本的に、発表に興味を引いた参加者をできるだけ多く引きつけ、高い評価を得るのが目的です。そのため、聴衆との双方向的な議論を期待します。

5. ポスターの回収

ポスターですが、第2日15:00まで展示いたします。その後、それぞれ回収して下さい。16:00時以降も回収されないポスターは実行委員会が回収してお預かりします。後日、事務局に申し出て受け取って下さい。

◆自由形式で発表予定の方々へ◆

自由形式は、発表ごとに教室・設備などが異なりますので、一般的なインストラクションはありません。今後、それぞれの企画にあわせて、個別にご相談することになるかと思えます。とくに使用希望の機器等

については、要旨等の提出期限の 10/13 以前でも、お早めに運営担当（高畑；z96014@kwansei.ac.jp）にご連絡ください。また、実行委員会の方から直接お問い合わせすることもあるかと思えます。